

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考え方や意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。

人口減少に歯どめをかけ、にぎわいを取り戻す対策を

ほんだしげのぶ
本多重信が問う



小川町に元気とにぎわいを！（駅前通り）

人口減への町の対策は

指定避難所には、太陽光パネルと蓄電池は必要だね

いぐちりょういち
井口亮一が問う



太陽光発電設備と蓄電池の設置が期待されるみどりが丘小学校体育館。

デマンドタクシーの充実を

Q 「来るまでに時間がかかる」「料金が高い」等の声も多く、通院や買い物のための町外利用や高齢者を交通事故の加害者・被害者にさせないためにもデマンドタクシーの充実をいかに図るか。

A 都市政課長 利用者の意見は隨時把握し、公共交通活性化協議会等へ報告しています。アンケート調査結果も今後まとめます。「利用しやすい制度に」は協議していく。町外利用は現時点では考えていません。高齢者による交通事故を減少させるため、免許返納を促すことは大切です。今後もデマンドタクシーの利用促進を行いつつ、注意喚起や啓発をしていきます。



ひとりでのごみ出しに苦労する高齢者。

Q 当町は人口3万8000人を超えたこともあつたが、今年4月、3万人を割り込んだ。人口減を懸念する町民の声の把握は。

A 政策推進課長 地区別懇談会やアンケートなど実施したところ、将来不安や地域コミュニティの持続可能性など人口減問題含め、さまざまな声をいただきました。これらは総合戦略会議へフィードバックし、人口減や少子高齢化対策に取り組みます。若者世代の呼び込みや定住促進も図ります。

国の補助が87%今すぐ活用を

課題先進地として想定外のない模擬対策をしていく

とぐちまさる
戸口勝が問う



Q 自然災害が多発する中、政府は指定避難所などに太陽光パネルや蓄電池を設置する費用の87%を補助する事業を推進している。町には、この事業の対象となる施設はどのくらいあるか。

A 防災地域支援課長 小中学校の体育馆をはじめ14施設で、西中学校は対応済みです。この補助事業を活用したい施設はどうぞ、準備は進んでいるのか。

A 防災地域支援課長 初期費用の負担が13%と少ないので、14施設全てに

設置したいと考えていますが、関連の改修工事費が町負担であることや、維持管理費用も見込まれることから、事業実施は慎重に判断すべきものと考えています。

Q 小中学校の工アコニ設置事業が急速に進み100%になつた理由は何か。

A 防災地域支援課長 異常気象とも言える夏の厳しい暑さと国からの補助制度の充実により、町の負担が軽減したことによるものと考えています。

A 環境農林課長 地域コミュニティの中での助け合いが最善で、そのような社会の実現が望ましいです。不自由なくごみ出しができる体制も検討していますが、対象者の特定が大きな課題となっています。先進地を例に研究します。

Q 「ごみ出し」が困難な住民が増加する予測であるが、その対策は。

高齢者を取りまく課題の解決を

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「あなたが考える町のキャッチコピーは」

ほんだしげのぶ
本多重信が問う

